

# 「法と開発」基礎研究

小林 昌之 編

2007年3月

独立行政法人 日本貿易振興機構

アジア経済研究所

## はじめに

本書は、2006 年度にアジア経済研究所で実施された『法と開発』基礎研究（基礎理論研究会）の報告書である。研究会は「法と開発」研究の方法論および今後の研究課題を探ることを目的とし、「法と開発」にかかわる先行研究や援助実務の基盤となっている諸理論についての調査研究を行った。

1990 年代には多くのアジア諸国で法改革が実施されてきた。法改革の中心は市場経済化にあったが、民主化や社会的公平の実現など開発過程のあらゆる分野で行われてきた。開発過程における法の役割の解明は途上国が自ら行う法改革と外部の法整備支援を効果的に実施するために重要となるが、いまだ十分な理論化が行われてきたとはいえない。「法と開発」についての理論研究は、歴史的には 1960 年代の米国にその端緒をみるが、制度の押しつけを正当化すると自己批判により消滅しかけた。その後、1990 年代に入り、法整備支援活動に先立ち研究も再開され、実証研究を含めさまざまな取り組みが活発化してきた。

当研究所では地域に根ざした研究を行うとの方針の下、開発途上国法の研究を行ってきた。昨今議論されている「法と開発」の成果を考察することはこれまでの研究をさらに深化させ、議論へ貢献するために重要であると考えられる。「法と開発」は文字どおり法と開発が交差する実務・学問分野である。従来、開発は経済成長を目指した経済開発が主流であったが、開発はそれにとどまらず広義の貧困や人権に着目した社会開発や人間開発へと広がっている。しかし、いまだ影響力をもっているのは経済学の新制度学派などの理論であり、法学からの主張を構築することが一つの課題となっている。法は正義や公正といった実現すべき基本的価値を本来内包しているはずだからである。このように開発における法の役割を見つめ直す作業をすると同時に、さらに地域研究や開発研究との協働を深めることによって、「法と開発」研究をいっ

そう進展させることができると思われる。本書はそのための足がかりとなる材料を提供しようとするものである。

本書の構成は次のとおりである。

第1章『法と開発』研究とは何か（研究ノート）」は、「法と開発」研究の理論を整理し、その上で、その多くが開発達成のために法制度は独立した道具的役割を果たすとする論理に基づいていることに疑問を投げかけ、実証研究のあり方について議論する。

第2章「法・経済発展・法の経済分析（研究ノート）」は、法学と経済学との関係には、(1)経済成長ないし経済発展の説明変数の一つとしての法と(2)経済学的手法を用いた説明対象としての法の2つの流れがあると指摘し、両者の関係を経済分析の学説史などをもとに考察する。

第3章『法と開発』研究におけるエスニシティ概念—Amy Chua の議論を参考に」は、エスニシティを無視して「市場経済」と「民主主義」を同時に追求すると衝突が起こりうるとする Amy Chua の議論を紹介し、インフォーマル・ルール考察の重要性が示唆されると論じる。

第4章「開発における権利に基づくアプローチの発展と障害分野における展開」は、開発機関や人権機関などにおける権利に基づくアプローチの議論を整理し、さらに新たな適用分野として「障害と開発」の文脈における同アプローチの展開について紹介する。

第5章「開発途上国における法と政治—タイ暫定憲法の考察」は、開発途上国における法と政治の問題が顕在化した事例として 2006 年のタイのクーデタを取り上げ、暫定憲法の分析をとおしてクーデタ後の統治構造と新憲法の制定に向けた手続きの特徴を考察する。

なお、研究会では前半、開発法学を提唱する安田信之著の『開発法学—アジア・ポスト開発国家の法システム—』（名古屋大学出版会、2005 年）を取り上げて議論を行い、その成果を共同執筆の書評として発表している（『アジア

経済』第48巻第2号、2007年、pp.66-72)。併せてご参照いただければ幸いです。

最後に、本書を作成するにあたり、内外の多くの識者から貴重な意見および情報の提供を受けた。この場を借りて、これらの方々に感謝の意を表したい。これまで同様に、読者諸氏の忌憚のないご意見、ご批判を賜れば幸いです。

2007年3月

編者

## 執筆者一覧

- 第1章 山田美和 開発研究センター 法・制度研究グループ
- 第2章 佐藤 創 開発研究センター 法・制度研究グループ
- 第3章 初鹿野直美 新領域研究センター 経済技術協力研究グループ
- 第4章 小林昌之\* 開発研究センター 法・制度研究グループ長
- 第5章 今泉慎也\*\* 開発研究センター 法・制度研究グループ

\* 研究会主査 \*\* 研究会幹事

## 目次

はじめに .....	i
執筆者一覧 .....	iv
目次 .....	v
第1章 「法と開発」研究とは何か — 研究ノート — 山田美和 .....	1
第2章 法・経済発展・法の経済分析 — 研究ノート — 佐藤 創 .....	19
第3章 「法と開発」研究におけるエスニシティ概念 — Amy Chua の議論を参考に — 初鹿野直美 .....	43
第4章 開発における権利に基づくアプローチの発展と 障害分野における展開 小林昌之 .....	57
第5章 開発途上国における法と政治 — タイ暫定憲法の考察 — 今泉慎也 .....	81